

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)

【公開番号】特開 2006-135549 (P2006-135549A)

【公開日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【年通号数】公開・登録公報 2006-020

【出願番号】特願 2004-321160 (P2004-321160)

【国際特許分類】

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

H 0 4 B 7/26 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/28 3 0 7

H 0 4 B 7/26 X

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 31 日 (2007.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信装置であって、

第 1 の通信装置と直接通信する通信手段と、

前記通信手段の電力モードを切り替える切替手段と、

前記通信装置が参加するネットワークへ新規に第 2 の通信装置が参加したことを検出する検出手段と、

を有し、

前記切替手段は、前記検出手段による検出に応じて、前記通信手段の電力モードを省電力モードから他の電力モードに切替えることを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記第 2 の通信装置が電力モードの制御機能を有するか否かを判別する判別手段を有し、

前記切替手段は、前記検出手段による検出と、前記判別手段による判別とに応じて、前記通信手段の電力モードを省電力モードから他の電力モードに切替えることを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記切替手段は、前記判別手段により前記第 2 の通信装置が前記電力モードの制御機能を有しないと判別されると、前記電力モードの切替を行なうことを特徴とする請求項 2 に記載の通信装置。

【請求項 4】

他の通信装置の識別情報を記憶する記憶手段を有し、

前記切替手段は、前記検出手段により検出された第 2 の通信装置の識別情報と、前記記憶手段に記憶されている識別情報と、に応じて、前記電力モードの切替を行なうことを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記ネットワークに参加している他の通信装置を識別する識別手段と、

前記識別手段による識別に応じて、前記記憶手段に記憶されている識別情報を更新する

更新手段と、を有することを特徴とする請求項 4 に記載の通信装置。

【請求項 6】

前記通信装置が参加するネットワークに参加している全ての通信装置が電力モードの制御機能を有しているか否かを判断する判断手段を有し、

前記切替手段は、前記判断手段により前記全ての通信装置が電力モードの制御機能を有していると判断した場合に、前記通信手段の電力モードを前記他の電力モードから省電力モードに切替えることを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記検出手段は、受信したビーコン信号に基づいて、前記第 2 の通信装置のネットワークへの参加を検出することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 8】

前記検出手段は、IEEE 802.11仕様に記載されたマネージメントパケットに基づいて、前記第 2 の通信装置のネットワークへの参加を検出することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 9】

通信装置間で直接通信する通信手段を有する通信装置における制御方法であって、

前記通信装置が参加するネットワークへ新規に他の通信装置が参加したことを検出する検出ステップと、

前記検出ステップにおける検出に応じて、前記通信手段の電力モードを省電力モードから他の電力モードに切替えることを特徴とする制御方法。

【請求項 10】

通信装置間で直接通信する通信手段を有する通信装置に係るコンピュータに、

前記通信装置が参加するネットワークへ新規に他の通信装置が参加してきたことを検出する検出ステップと、

前記検出ステップにおける検出に応じて、前記通信手段が有する省電力モードと、他の電力モードとを切替えさせる切替ステップと、
を実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

この発明は、上述した課題を解決すべくなされたもので、通信装置であって、第 1 の通信装置と直接通信する通信手段と、前記通信手段の電力モードを切り替える切替手段と、前記通信装置が参加するネットワークへ新規に第 2 の通信装置が参加したことを検出する検出手段と、を有し、前記切替手段は、前記検出手段による検出に応じて、前記通信手段の電力モードを省電力モードから他の電力モードに切替えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明は、通信装置間で直接通信する通信手段を有する通信装置における制御方法であって、前記通信装置が参加するネットワークへ新規に他の通信装置が参加したことを検出する検出ステップと、前記検出ステップにおける検出に応じて、前記通信手段の電力モードを省電力モードから他の電力モードに切替えることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

また、本発明は、通信装置間で直接通信する通信手段を有する通信装置に係るコンピュータに、前記通信装置が参加するネットワークへ新規に他の通信装置が参加してきたことを検出する検出ステップと、前記検出ステップにおける検出に応じて、前記通信手段が有する省電力モードと、他の電力モードとを切替えさせる切替ステップと、を実行させることを特徴とする。